

老を敬う — 少欲知足 恥じる思いあり —

(六版)

この生死は仏の御いのち

先ずは世のため人のため

限りをやめて皆のため

それでも残る大事な自分

だから慎み欲張らぬ

自己を調え気尽を言わぬ

恥ずかしながら難しい

自己を慎み修めるは

でも齢と経験積み行けば

漸く足ること身について

欲張り気尽出てこない

凡そ仕上がり老成だ

習熟するを老という

ご老人お手本示す世の中に

宮城県大崎市

瑞川寺住職

木村謙文